

# 事業開催報告

記載日： 2024年2月27日

イベント名	関西支部勉強会「車椅子使用者の円滑な航空機利用について」		
開催日時	2024年2月23日(祝・金) 13時~15時		
開催場所	神戸学院大学 神戸三宮サテライト セミナー室	ブース番号等	A
講師・演者等	調査報告：剣持悟 利用事例紹介：宮野秀樹氏 アメリカの国内規格紹介：半田隆志氏（埼玉県産業技術総合センター） 指定発言：北川博巳氏（（一社）日本福祉のまちづくり学会 関西支部）、竹島 恵子氏（（公財）交通エコロジー・モビリティ財団）、板東 哲郎氏（（一社）日本福祉用具・生活支援協会（JASPA））		
参加者数	有料	円： 人， 円： 人	
	無料	52人	その他 来場者数：21人（オンライン31人）
事業種別	展示会・セミナー／シンポジウム・講習会・その他（勉強会）		
	主催・共催・協力・後援・協賛・出展・その他（ ）		
	本部・支部（ 関西 ）・SIG（ ）・その他（ ）		
	主担当氏名：剣持悟（川村義肢株式会社）		
開催概要 （400字程度）	<p>最初に、剣持悟より、協会の協力事業として行ってきた航空関係者向けセミナーの概要と参加者アンケートの結果が報告され、（電動）車椅子を航空機に搭載するにあたって必要な情報を共有する必要性について話があった。続いて宮野秀樹氏のご自身の豊富な経験を基に、いかにトラブルを回避して快適な移動を実現するか、移乗機器の活用も含めて報告があった。最後に、半田隆志氏からは先行しているアメリカの国内規格について紹介があり、規格制定のプロセスや、成果物としてのコンフィグレーションカードについて説明していただいた。航空機に搭載するにあたって、折りたたんだ時の大きさや重さが必要であるのは勿論のこと、電動車椅子においては、どこに締結して固定するのか？バッテリーの種類と大きさの確認、無効化・絶縁処理などの手続きが必要となるため、第三者が見ても分かりやすいように明示する必要がある。その情報をシールやQRコード、コンフィグレーションカードを用いて運用していこうとしているのがアメリカの国内規格で、何らかの形でISO規格にも反映されそうだということであった。指定発言としては北川博巳氏より関西の空港バリアフリー状況、竹島 恵子氏より国交省の対応指針や交通事業者向け講習会の紹介、板東 哲郎氏からはJIS化に必要な手続きについて提案があった。質疑応答も時間を超えて活発に行われ、アンケートでも高評価を得た。</p>		
写真 （2枚を貼付け）	 <p>図1 講師の半田氏</p>		 <p>図2 会場の様子</p>
	（その他の写真 無） ファイル名：		
フライヤー等	（添付ファイル 有） ファイル名：チラシ（PDF）		
Webサイト			（継続・廃止）
開催報告掲載	協会誌	（掲載済み <input checked="" type="radio"/> 予定 <input type="radio"/>	